㊞

令和８年10月８日

当別町
町長　後藤 正洋 様

公益社団法人　日本オストミー協会
北海道支部　支部長　須佐 理恵子

日常生活用具給付等事業における排泄管理支援用具に関する要望書
給付基準額に関する見直しについて

私共日本オストミー協会（以下 JOA）北海道支部に対しまして、平素より温かいご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。特に介護課には、私達協会会員をはじめ人工肛門・人工膀胱（以下ストーマ）造設者（以下、オストメイト）が日頃より大変なお世話を頂いておりますことありがたく思いますと共に重ねて御礼申し上げます。私達オストメイトは排泄機能に障がいがある者として、ストーマ装具及び関連製品の使用は毎日の生活に欠かせない物であり、排泄管理支援用具に関する給付支援がなくてはならないものです。ここに改めて感謝致します。

今般、この生活必需品である排泄管理支援用具について、下記の事項をお願いしたく要望書として提出致します。ストーマ装具及び関連製品の価格上昇が継続しており、利用者負担は一層大きくなっています。このため、給付基準額の見直しをお願いするとともに、要望に至る私達の現状説明を資料として別添致しますので、窮状をご理解頂きますようお願い致します。

要望の趣旨をご理解頂き、ご検討の状況について、令和８年度末日までにご教示下されば幸いです。宜しくお願い致します。

記

【要望事項】

現行の給付基準額を増額して頂きたい。

現行	消化器系ストーマ装具	8,858 円	⇒	希望金額	(13,000 円)
	尿路系ストーマ装具	11,639 円	⇒	希望金額	(15,000 円)

別添資料：ストーマに係る「歴史」「経緯」「現状」「要望内容」

ストーマに係る説明資料 1

1. 歴史・経緯・現状……1P

2　要望内容……3～4P

ストーマに係る説明資料 2

『日常生活用具給付等事業に関する現状』

公益社団法人　日本オストミー協会
北海道支部　支部長　須佐　理恵子

【歴史】

排泄管理支援用具の給付の歴史は、1984（昭和59）年に、ストーマ保有者への身体障害者福祉法の適用が開始され、「補装具の種目，受託報酬の額等に関する基準」として、国の補装具給付制度の対象種目となったところからスタートしました。その後、2006年障害者自立支援法設立時に、その運用の主体が、国の管理する補装具から、市町村が管理する日常生活用具給付事業に移管されました。

【経緯】

1984年設定の補装具としての基準額は　当時、消化器系7,100円、尿路系9,300円で、その後、5~6年に1度、額の見直しが行われ、1993年に消化器系8,600円、尿路系11,300円という基準額提示されました。しかしその1993年以降、2006年に市町村の采配で給付基準額が決められるようになってからも含めてのこの33年、徐々に見直しは進んでいるものの、未だ市区町村の約80%は基準額の見直しが行われていないことが、我々JOAとして実施した調査で明らかになっています。

JOAでは、2006年に市町村へその管理母体が変更になってきてから現在まで、過去4回市区町村での給付実態調査を実施してきました。

過去10年間の変遷結果は添付参考資料の図1のとおりで、全国的には16%以上の市区町村で、基準額の見直しが行われており、それ以外は補装具時代の1993年設定の基準から変化がなく、市区町村間で差が生じてきているのが実態です。

北海道下での状況を確認しますと、安平町・鹿部町で見直しが行われ、消化器系で13,000円、尿路系で15,000円、道下では一番高い基準額です。次いで士幌町・増毛町では、消化器系で12,000円、尿路系で14,000円の基準額が認められております。

国（厚労省）としても、令和3年の主管課長会議において、次のように連絡していることが議事録として確認できます。「このため、各市町村においては、平成18 年の障害者自立支援法以前に国が定めた基準額や実施方法等にとらわれることなく、定期的に当事者の意見を聴取する等によりニーズを把握した上で実勢価格の調査を行う等、地域の実情に即した、適切な種目や基準額等となるよう定期的な見直しに努められたい。なお、平成30年度の障害者総合福祉推進事業による調査研究を通じて、一部の市町村では平成18 年度以降に種目・基準額・対象者について見直しがされていない状況が確認できたところであり、このような市町村については特に努めて頂きたい。」（令和4年度も同様な連絡が発せられています。）

当別町においては、同じ道央地域で見直しが行われた自治体（苫小牧市・砂川市・安平町・新篠津村）がある中、1993年に国が設置した当時の基準額から消化器系、尿路系共に、3%の見直しが行われただけで、この33年間実際の基準額の増額は認められていません。

【現状】

現在の給付基準額ではオストメイトの負担は大きく、JOAでは市区町村の給付状況調査と合わせて実施するオストメイトの生活実態調査において、直近の第9回（令和3年実施）では83.8%のオストメイトが給付基準額を不足としており、全国平均不足月額は全体平均で3,920円という結果と出ています。前回データと比較して、不足額は約600円増えており、また間に合っていないとする方の割合は、第8回では65.3%であったのに対して、今回は83.8%であり、不足と感じる方の割合が約20%も増加していることがわかります。（下記表1参照）

表1：毎月の自己負担額　（添付参考資料の表1より抜粋：第9回オストメイト生活実態基本調査報告書　令和4年11月　日本オストミー協会、P21、表34より転記）

		給付不足額/月	間に合っていない割合
全体	以下、①~④の平均	3,920円 前回3,364円	83.8% 前回65.3%
消化管ストーマ	① 結腸（大腸）ストーマ：コロストミー	3,763円 前回3,344円	83.2% 前回64.0%
	② 回腸（小腸）ストーマ：イレオストミー	4,796円 前回4,608円	87.6% 前回71.7%
尿路ストーマ	③ ウロストミー	3,670円 前回2,670円	83.8% 前回66.3%
ダブルストーマ	④ 消化管ストーマと尿路ストーマの併存	4,627円 前回2,764円	82.3% 前回58.8%

参照して頂いた上記の表1には、全体平均不足額以外に、ストーマの種類別の不足額も掲載しました。ストーマの種類については、添付参考資料ページ5をご覧下さい。

装具代の負担感に関する問題は、ストーマに関連する学会や医療従事者団体等の調査、研究でも、次のような結果が発表されています。

① 「社会生活」のカテゴリーの中で、一番の困った経験は「補助金を超えた装具代を支払っている。」が第一位であった。（添付参考資料のページ6図2）

・ストーマの種類別、大腸ストーマ（コロストミー）、小腸ストーマ（イレオストミー）　尿路ストーマ(ウロストミー)、ダブルストーマそれぞれにおいても、装具代の負担感が社会生活のカテゴリーで第一位であった。

出典：ストーマ保有者の困った経験の実態調査2020より抜粋（NPO法人ストーマ・イメージアップ・プロジェクトチーム（SIUP）調査

【要望内容】

以上のような現状を踏まえ、それぞれの給付基準額の不足分である、消化器系（コロストミーとイレオストミーの単純平均）4,280円、尿路系（ウロストミー）3,670円を考慮し、下記金額を希望します。

消化器系ストーマ装具　8,858円（現行）＋4,280円＝13,138円　　希望13,000円

尿路系ストーマ装具　11,639円（現行）＋3,670円＝15,309円　　希望15,000円

市区町村に対する給付状況に関するJOAの調査（令和4年11月）では、この直近4年で消費税率が10%に上がっていることを機に、また過去からの製品価格の値上げ状況や、自治体住民へのアンケート実施などで実態把握を行うことで、見直しに至る市区町がでてきていることがわかってきました。実際、2005年度から2026年度までの代表的なストーマ装具の価格は、平均42%値上げされており、特にここ数年は、昨今の状況から、メーカーのストーマ装具類の販売価格の値上げも相次いでいる（詳細は別紙参照）。このような状況から、見直しが行われていない現在の給付基準額で、オストメイトの実費負担が増えてきている状況です。これらの点についてもぜひご考慮の程お願い致します。

【まとめ】

私達オストメイトにとって、ストーマ装具と関連製品は毎日の排泄を支える生活必需品です。本要望書にも記載したとおり、オストメイトといっても、個々のストーマ種類や環境により必要な装具や関連補助製品も異なります。個々のオストメイトが必要なものをきちんと使用できる環境を整え、トラブル回避できるレベルの装具交換と、補助的関連製品が心配なく使用できることで、ごく普通に得られるべき生活の質が維持できます。この為メーカーの値上げに伴いストーマ装具基準額の引き上げを切にお願い致します。

以上

【ご回答のお願い】

大変お手数をおかけしますが、令和8年度末日までに、文書でご回答くださいますようお願い致します。

送付先　〒064-0826　札幌市中央区北6条西26丁目2-15-701

公益社団法人　日本オストミー協会　北海道支部

支部長　須佐　理恵子

別紙

1．2005年度から2026年度までの代表的なストーマ装具の価格の変化

		単品系					
メーカー		平面（結腸）	凸面（結腸）	平面（小腸）	凸面（小腸）	平面（尿路）	凸面（尿路）
A	2005年販売製品価格（枚）	¥230	¥560	該当品なし	¥700	¥480	¥950
	2026年　〃	¥620	¥970	¥870	¥1,140	¥830	¥1,140
	Up率	**170%**	**73%**	**-**	**63%**	**73%**	**20%**
B	2005年販売製品価格（枚）	¥400	¥820	該当品なし	該当品なし	¥750	¥950
	2026年　〃	¥630	¥970	¥730	¥970	¥870	¥1,150
	Up率	**58%**	**18%**	**-**	**-**	**16%**	**21%**
C	2005年販売製品価格（枚）	¥250	該当品なし	該当品なし	該当品なし	¥850	¥1,000
	2026年　〃	¥440	¥949	¥780	¥827	¥1,131	¥1,099
	Up率	**76%**	**-**	**-**	**-**	**33%**	**10%**
D	2005年販売製品価格（枚）	¥530	¥890	該当品なし	該当品なし	該当なし	該当品なし
	2026年　〃	¥600	¥950	¥700	¥920	¥800	¥1,100
	Up率	**13%**	**7%**	**-**	**-**	**-**	**-**
E	2005年販売製品価格（枚）	¥500	¥830	該当品なし	該当品なし	¥730	¥950
	2026年　〃	¥600	¥990	¥700	¥800	¥800	¥1,100
	Up率	**20%**	**19%**	**-**	**-**	**10%**	**16%**
	Up率5社平均	**67%**	**29%**	**-**	**63%**	**33%**	**17%**
						総平均	**42%**

2．主要4メーカーの直近4年のストーマ装具類の値上げ状況

メーカー名	価格改定時期	改定品目数
ホリスター・ダンサック（米国）	2022年10月	606
コンバテック（イギリス）	2021年3月	174
	2023年3月	69
	2025年7月	274
コロプラスト（デンマーク）	2023年4月	298
	2024年10月	379
アルケア（日本）	2023年4月	278
	2024年4月	103

日常生活用具給付等事業に関する現状
～2006年より市区町村管轄になってからの変化～

1.　市区町村間の給付事業に地域差が生じてきている

①　給付券基準額
②　給付券対象製品
③　給付券対象者
④　給付券負担率

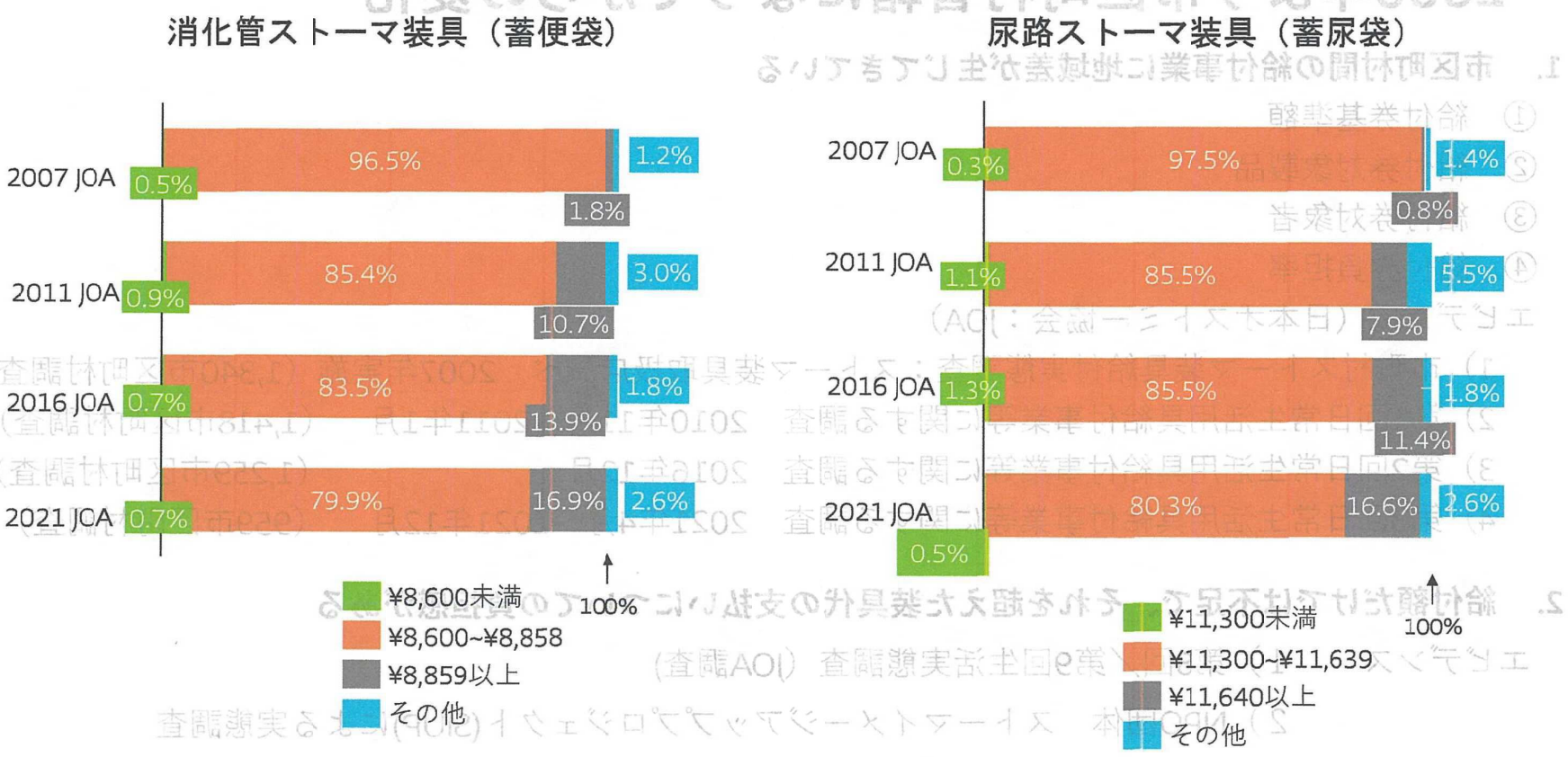
エビデンス（日本オストミー協会：JOA）

1）市町村ストーマ装具給付実態調査：ストーマ装具取扱店調べ　2007年実施（1,340市区町村調査）
2）第1回日常生活用具給付事業等に関する調査　2010年11月～2011年1月　（1,418市区町村調査）
3）第2回日常生活用具給付事業等に関する調査　2016年12月　（1,259市区町村調査）
4）第3回日常生活用具給付事業等に関する調査　2021年4月～2021年12月　（959市区町村調査）

2.　給付額だけでは不足で、それを超えた装具代の支払いについての負担感がある

エビデンス　1）第8回／第9回生活実態調査（JOA調査）
2）NPO団体　ストーマイメージアッププロジェクト(SIUP)による実態調査

図１：給付券基準額の変化



オストメイト生活実態調査

1．日本オストミー協会（JOA)による調査：オストメイト生活実態調査報告書

＜第8回＞
調査期間　　2017年（H29）12月～2018年（H30)2月
サンプル数　1,300票
回収数　　592票の回収率　回収率45.5％

＜第9回＞
調査期間　　2021年（R3）4月～2021年（R3)2月
サンプル数　13,220 票+ WEBアンケート
回収数　　3,930票の回収

2．Stoma Image Up Project : SIUP による調査
「人工肛門・人工膀胱（ストーマ）保有者の社会生活における困った経験と相談内容の実態調査
2017年4月～2018年3月実施
サンプル数　　1,086通（分析対象）/3,000通　　（有効回答率　36.2％）

表１：第９回調査　　２．自己負担額

表 34（Ⅱ．問 3-2）ストーマ装具にかかる自己負担額/1 か月

（無回答を除く。カッコは前回調査データ）　　【単位: %】

給付不足金額（月）	全体	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	Wストーマ	消化器系ストーマ
間に合っている	16.2 (34.7)	16.8 (36.0)	12.4 (28.3)	16.2 (33.7)	17.7 (41.2)	25.0
間に合っていない	83.8 (65.3)	83.2 (64.0)	87.6 (71.7)	83.8 (66.3)	82.3 (58.8)	75.0
2千円未満	28.4 (13.6)	30.0 (13.8)	24.9 (21.7)	27.7 (10.1)	16.9 (0.0)	25.0
2~3千未満	12.3 (12.2)	11.8 (11.3)	12.0 (10.0)	13.2 (10.1)	20.0 (0.0)	18.8
3~4千未満	8.2 (9.1)	7.9 (8.0)	8.4 (10.0)	9.6 (12.3)	7.7 (5.9)	0.0
4~6千未満	13.4 (10.7)	12.2 (12.4)	14.4 (8.3)	16.2 (5.6)	12.3 (17.6)	6.3
6~8千未満	4.9 (4.1)	4.7 (3.6)	5.6 (3.3)	4.1 (6.7)	3.1 (0.0)	0.0
8~10千未満	5.2 (6.3)	6.2 (5.1)	4.9 (8.3)	2.8 (7.9)	4.6 (11.8)	12.5
10~15千未満	6.4 (5.2)	6.4 (5.8)	8.0 (5.0)	5.7 (4.5)	8.5 (0.0)	6.3
15千円以上	5.1 (4.1)	4.0 (4.0)	9.3 (5.0)	4.4 (3.4)	9.2 (5.9)	6.3
平均不足月額（円）	3,920 (3,364)	3,763 (3,344)	4,796 (4,608)	3,670 (2,670)	4,627 (2,764)	3,875

参考：ストーマの種類と特長

ストーマの種類

1．消化管ストーマ（人工肛門）便の排泄
コロストミー　イレオストミー　の2種がある。

2．尿路ストーマ（人工膀胱）尿の排泄
ウロストミー

3．「消化管ストーマ」と「尿路ストーマ」の両方を造設
ダブルストーマ

1．消化管ストーマ（人工肛門）
ストーマをつくる腸管と位置により切除される腸の長さや便の性状が異なる

・コロストミー（結腸ストーマ）　結腸に作られたストーマのこと。

ストーマの種類	便の性状
上行結腸ストーマ 横行結腸ストーマ 下行、S状結腸ストーマ	水様～泥状 泥状～軟便 軟便～固形

・イレオストミー（回腸ストーマ）　回腸に作られたストーマのこと。

ストーマの種類	便の性状
回腸ストーマ	水様（通常の場合）

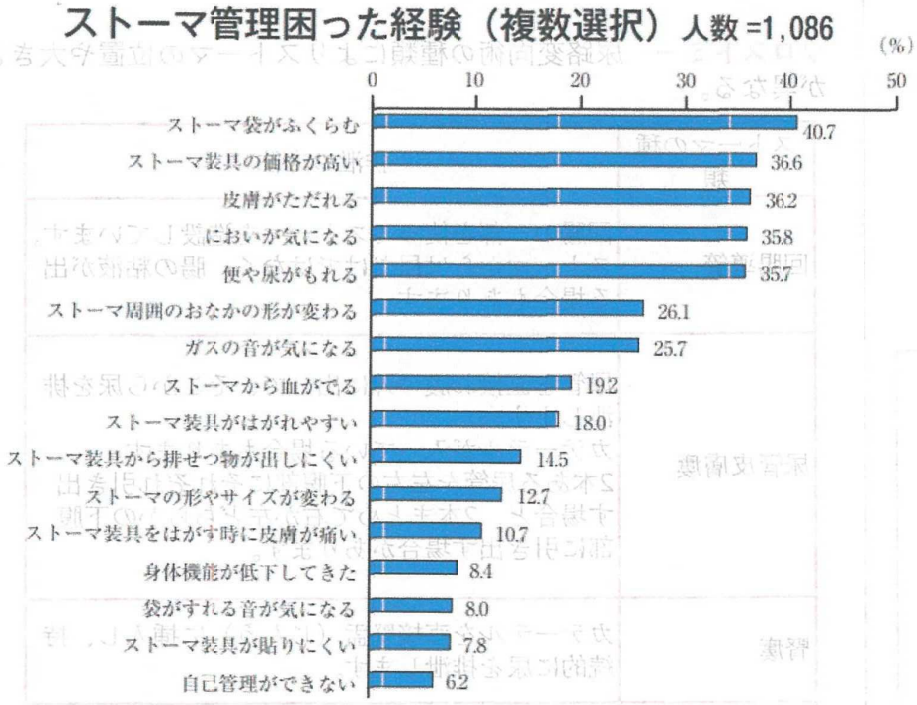
2．尿路ストーマ（人工膀胱）・・・・尿が排出されるストーマ

ウロストミー　尿路変向術の種類によりストーマの位置や大きさが異なる。

ストーマの種類	排泄の方法
回腸導管	回腸の一部を使ってストーマを造設しています。ストーマからは尿だけではなく、腸の粘液が出る場合もあります。
尿管皮膚瘻	尿管を直接お腹の外に出して、そこから尿を排泄します。 カテーテルが入っている場合もあります。 2本ある尿管を左右の下腹部にそれぞれ引き出す場合と、2本まとめて右か左どちらかの下腹部に引き出す場合があります。
腎瘻	カテーテルを直接腎盂（じんう）に挿入し、持続的に尿を排泄します。
膀胱瘻	カテーテルを恥骨上部から膀胱内に挿入します。 カテーテルなしで、直接尿が排泄される場合もあります。

引用：「ブーケ」若いオストメイの会資料、

図2：ストーマイメージアッププロジェクト(NPO)の調査



出典：SIUP「人工肛門・人工膀胱（ストーマ）保有者の困った経験の実態調査2020」

Copyright 2008 Stoma ImageUp Project, All rights reserved.

